

10月の乳幼児の健康診査

*該当月に受診できない場合は連絡してください

地域	内容	対象	日	受付時間	場所
一関 花泉	3～4カ月児健診	26年6月1日～12日生まれ	22(※)	12:45～13:00	一関保健センター
		26年6月13日～30日生まれ	23(※)		
	9～10カ月児相談	25年12月1日～16日生まれ	22(※)	8:45～9:00	
		25年12月17日～31日生まれ	23(※)		
	1歳6カ月児健診	25年3月1日～17日生まれ	9(※)	12:45～13:00	
		25年3月18日～31日生まれ	10(金)		
2歳6カ月児歯科健診	24年4月1日～16日生まれ	9(※)	8:45～9:00		
	24年4月17日～30日生まれ	10(金)			
3歳児健診	23年4月1日～17日生まれ	2(※)	12:45～13:00		
	23年4月18日～30日生まれ	3(金)			
大東 東山	3～4カ月児健診	26年6月生まれ	29(※)	13:00～13:15	東山保健センター
	9～10カ月児相談	25年12月生まれ	7(火)	9:00～9:15	大東保健センター
	1歳6カ月児健診	25年3月生まれ	15(※)	13:00～13:15	東山保健センター
	2歳6カ月児歯科健診	24年4月生まれ	7(火)		大東保健センター
	3歳児健診	23年4月生まれ	21(火)		
千厩 室根 川崎 藤沢	3～4カ月児健診	26年6月生まれ	21(火)	12:30～12:40	川崎防災センター
	9～10カ月児相談	25年12月生まれ	14(火)	8:50～9:00	千厩保健センター
	1歳6カ月児健診	25年3月生まれ	16(※)	12:30～12:40	
	2歳6カ月児歯科健診	24年4月生まれ	14(火)	13:00～13:10	
	3歳児健診	23年4月生まれ	15(※)	12:30～12:40	

☎健康づくり課(一関保健センター内)または各支所保健福祉課

information

一関パーキンソン病教室

☎国立病院機構岩手病院 ☎2221
◇日時・場所…11月1日 ☎13:30～15:30
・一関文化センター
◇内容…①パーキンソン病の言語・嚥下障害②言語・嚥下障害の機能訓練③食事の注意点と食べやすい食事④寒い季節に気を付けたいこと

室根診療所に常勤医師が着任します

☎室根診療所 ☎2127
室根診療所は10月1日から常勤医師の着任により診療日を変更します。

診療時間	月	火	水	木	金
9:00～12:00	○	×	○	○	○
13:30～17:00	○ ※1	○ ※2	○	△	△

※1…毎月第1回は20:00まで
※2…☎午後は14:00～16:00
△…☎午後は孝養ハウスの診療と往診を優先



10月1日から着任する
ふるさわ けんいち
古澤 健一 医師

◇休診日…(土)(日)(祝)
◇診療科
…内科、消化器内科
◇訪問診療・訪問看護など…在宅で療養している人に往診や訪問診療、訪問看護を行います。事前に室根診療所に相談してください

医療と介護の窓

～みんなで守ろう地域医療～

文・県南広域振興局保健福祉環境部 長寿社会課長 後藤啓之

■地域包括ケアシステムの構築に向けて

略称「医療介護総合確保推進法」は6月25日に公布されました。「団塊の世代」は、10年後に75歳以上となり、高齢者医療・介護の分野に大きな影響を与えることが公布の背景にあります。
■地域包括ケアシステムとは
重度な要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けたいものです。医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスを、日常生活の場で切れ目なく提供できるような地域での体制づくりを地域包括ケアシステムと呼びます。
■在宅医療・医療と介護の連携推進
75歳以上になると病気の発症率が高くなり、複数の病気を抱え

やすくなります。慢性疾患による受療が増えたり、要介護となる割合が高くなったりと医療と介護の連携は欠かせません。急性期医療から、早期で円滑な在宅(施設を含む)への復帰を可能にする体制の整備や、居宅サービスの充実、在宅などでの看取りの体制強化も重要です。
■県による介護保険者への支援
介護保険法が改正され、在宅医療や医療と介護の連携推進は、保険者(市町村)の事業として制度化されます。県(県南広域振興局保健福祉環境部長寿社会課、一関保健所)は保険者を支援し、平成37年を目標に地域包括ケアシステムを構築することとしています。

☎健康づくり課(一関保健センター内)または各支所保健福祉課



国内トップレベルのプレー続出

日本女子ソフトボールリーグ一関大会

第47回日本女子ソフトボールリーグ1部リーグ一関大会は9月6日、7日の両日、一関運動公園野球場で開かれました。大会には、戸田中央総合病院、太陽誘電、日立、Hondaの4チームが出場。8月にオランダで行われた世界選手権で、2大会連続3回目の優勝を飾った日本代表メンバーも参戦しました。会場を訪れた観客らは、投打にハイレベルな試合を満喫しました。
部員と訪れた千厩中ソフトボール部の遊佐綺乃さん(3年)は「高校でもソフトボールを続けたいので、スピードとパワーみなぎるプレーは参考になります」と目を輝かせていました。



絶好の地ビール日和に爽快などごし

過去最高12,447リットルを飲み干す

17回目を迎えた「全国地ビールフェスティバルin一関」は、8月22日から24日までの3日間、大手町の一関文化センター前広場で開かれ、県内外から多くの来場者でにぎわいました。全国の地ビールが味わえるイベントとして定着したフェス。今年は北海道から沖縄まで過去最高の74社、200種類以上の地ビールを販売しました。来場者は、ナスやピーマンなど地元産の食材を使ったつまみと合わせ、飲み比べを楽しみました。
仙台市から友人と訪れた矢萩朝子さん(32)は、「全国の地ビールがカカ所々で味わえるので楽しいです。つまみも地元食材を使っておいしい」と笑顔で乾杯していました。

北上川で繰り広げられた熱き水上レース
川崎で20回目のEボート大会

北上川流域交流Eボート大会(同実行委主催)は9月7日、北上大橋付近の北上川で開かれました。今年で20回を迎えた節目の大会に、県内外から53チームが参加。レースは10人一組で行い、特製の棧橋から北上大橋の下をUターンするまでの約400m区間でタイムを競いました。水面にはパドルの水しぶきが上がり、河川敷の観客からは大きな声援が送られました。
昼には、特設ステージでわんこもち体験などのイベントも。吉田達男実行委員長は「スタッフや参加者のおかげで20回も続けられた。これからも川との共生を合言葉に交流を広げたい」と誓いました。



渓谷に響く口笛とのハーモニー
船上で聞く唯一無二の時間

船上十六夜コンサート(同実行委主催)は9月10、11日の二夜にわたり、狛鼻溪で開かれました。夕暮れの川面をゆっくりと進む三隻の小舟。一隻には国内口笛奏の第一人者の柴田晶子さん、秋田県を中心に活動するギタリストの本間貴士さん、手回しオルゴール「オルガニート」演奏家の宮本由利子さん。二隻には約80人の音楽ファン。幻想的なライトアップと、渓谷ならではの深い音響により、船上は贅沢なコンサート会場になりました。
三人は11日午前、大東中(遠藤宗俊校長、生徒152人)でも「パッヘルベルのカノン」や「風の通り道」など、聞き覚えのある楽曲で生徒を魅了しました。

